

災害に備える



今年は何年よりも梅雨が短かったものの、6月に大雨の影響で町内で一部通行止めが発生するなどの被害が出ました。

気象庁より7月17日に梅雨明けが発表されたところですが、梅雨が明けると次は、台風を心配する季節になります。また、秋になると秋雨前線の停滞による大雨にも注意が必要です。災害に備える季節はまだまだ続きます。

いつ起こるかわからない様々な災害から身を守るため、日頃から災害に対する備えをすることが大切です。

地域の災害リスクを知る

災害に備えるためには、自分の住んでいる地域にどのような災害リスクがあるかを確認しておく必要があります。

肝付町では、ホームページ上の肝付町防災マップで災害リスクを確認できます。以前配布された冊子は、地図情報の一部が更新されていますので、自分の住んでいる地域の災害リスクに変更がないかホームページの肝付町防災マップで確認してください。

※今年度中に新しい防災マップを配布予定です



防災スイッチON



防災スイッチとは、災害情報や気象情報などのいろいろな防災関連情報を参考にして、災害時の行動タイミングを考えるスイッチ（気持ちを切り替える）のことです。

災害時に防災スイッチをオンにするには、いつ、どのタイミングで、何をするかをあらかじめ認識しておく必要があります。

日常的に、防災について考えること、防災気象情報などについて学ぶこと、これも防災スイッチの役割と言えます。日頃から防災のことを意識して災害時の防災スイッチの感度を高める。これが「いつ起こるかかわからない災害に備える」ことになります。



出張先などの災害リスクは、国土交通省のハザードマップポータルサイトで確認できます。サイト内の「重ねるハザードマップ」又は「わがまちハザードマップ」を選択して確認します。